

I. 主要企業の 2009 年第 1 四半期動向レビュー

1. BHP Billiton

- ・ 2009 年 Q1^{*1} の銅鉱石生産量^{*2} は、対前 Q4 比 8%減、対前年 Q1 比 14%減となった。Escondida 鉱山(チリ)の鉱石品位低下と生産量低下が影響している。
- ・ 銀生産量^{*3} は、対前 Q4 比 24%減、対前年 Q1 比 22%減となった。Cannington 鉱山(QL 州)の鉱石品位低下と 2009 年 3 月の雨季(降雨)による作業能率低下が影響している。
- ・ 鉛鉱石生産量^{*4} は、対前 Q4 比 28%減、対前年 Q1 比 30%減となった。Cannington 鉱山(QLD 州)の鉱石品位低下と鉱石処理量低下が影響している。
- ・ 亜鉛鉱石生産量^{*5} は、対前 Q4 比は 4%増、対前年 Q1 比 10%増となった。Antamina 鉱山(ペルー)の鉱石品位の上昇及び処理鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ ウラン生産量^{*6} は、対前 Q4 比 3%増、対前年 Q1 比 11%減となった。対前 Q4 比 3%増は Olympic Dam 鉱山(SA 州)での鉱石品位向上及び回収率向上が貢献しており、対前年 Q1 比 11%減は Olympic Dam 鉱山の鉱石品位低下が影響している。
- ・ ニッケル生産量^{*7} は、対前 Q4 比 5%減、対前年 Q1 比 10%増となった。対前 Q4 比 5%減は、Yabulu 製錬所での 2009 年 3 月の雨季(降雨)による影響で、対前年 Q1 比 10%増は、2008 年 Q1 に Cerro Matoso(コロンビア)での生産一時停止した影響が改善したことによるものである。
- ・ マンガン鉱石生産量は、対前 Q4 比 48%減、対前年 Q1 比 56%減となった。需要減に対応する生産調整のための減産が影響している。
- ・ マンガン合金生産量は、対前 Q4 比 43%減、対前年 Q1 比では 46%減となった。需要減に対応する生産調整のための減産が影響している。

(非鉄金属のみ記載)

*1) 同社の会計年度は 6 月末締であるが、他社との比較のため暦年に基づくものとし 1~3 月期を Q1 と呼ぶ。

*2) 精鉱中の金属純分量と SxEw カソードの合計値

*3) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・製錬所の精製金、精製銀を含む)

*4) 精鉱中の金属純分量

*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

*6) 精鉱中のウラン酸化物量

*7) Earnings before interest and tax

出典) BHP Billiton Production Report for the nine month ended 31 March 2009, 22 April 2009

(1) トピックス

- ・ 2009 年 Q1 では、世界的な需要後退に伴い、対前 Q4 と比較し生産量は減少した。
- ・ 2009 年 3 月の雨季(降雨)による影響で、石油、鉄鉱石、燃料炭、ニッケル、銀及び鉛の生産量が低下した。

出典)BHP Billiton Production Report for the nine month ended 31 March 2009, 22 April 2009

(2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2008年			2009年		
	通年	H1*1	H2	通年	H1*2	H2
売上高	63,714	33,934	29,780			
当期利益	11,990	9,373	2,617			
売上高利益率(%)	18.82	27.62	8.79			
探鉱費 *3	804	308	496			

*1 2007年7月～2008年6月の12か月分から2006年7月～2006年12月の6か月分を差引いた数値

*2 2008年7月～2009年6月の12か月分から2008年7月～2008年12月の6か月分を差引いた数値

*3 石油を含む

出典) BHP Billiton Result for the Year ended 31 December 2008, 4 February 2009

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2008, 18 August 2008

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2007, 6 February 2008

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2006, 7 February 2008

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱 (k t) *1	717.1	190.7	221.0	159.4	146.0	116.7	116.7			
銅地金 (k t) *2	619.6	138.2	169.7	149.5	162.2	166.1	166.1			
鉛鉱 (t) *3	243,276	67,885	53,176	58,252	63,963	47,235	47,235			
亜鉛鉱 (t) *1	159,010	35,970	43,454	41,716	37,870	39,397	39,397			
金 (t) *3	5.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.3			
(oz) *3	163,480	37,515	38,424	41,751	45,790	42,327	42,327			
銀 (t) *3	1,314.8	349	287.3	320.4	358.1	271.5	271.5			
(k oz) *3	42,272	11,221	9,236	10,300	11,515	8,730	8,730			
ウラン(U ₃ O ₈ :t)*4	3,990	993	1,027	1,110	860	883	883			
ニッケル (k t) *5	162.6	43.0	42.6	26.8	50.2	47.5	47.5			
モリブデン鉱石(t) *1	2,189	580	590	608	411	337	337			
マンガン鉱石(k t)	6,759	1,666	1,851	1,830	1,412	733	733			
マンガン合金(k t)	766	192	190	203	181	104	104			
アルミナ (k t)	4,481	1,095	1,149	1,098	1,139	1,051	1,051			
アルミニウム(k t)	1,242	318	305	309	310	304	304			
鉄鉱石 (k t) *6	117,522	28,419	29,924	29,824	29,355	28,188	28,188			
原料炭 (k t) *7	35,338	6,846	9,132	9,210	10,150	7,596	7,596			
燃料炭 (k t)	75,889	19,264	21,353	18,796	16,476	15,222	15,222			
石油等 (m boe)*8	136.92	32.73	36.23	34.80	33.16	31.67	31.67			

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) カソード

*3) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

*4) 精鉱中のウラン酸化物量

*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分(Nickel West)

*6) Wet t(湿潤重量 t)

*7) 一部、燃料炭を含む

*8) boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton Production Report for the nine month ended 31 March 2009, 22 April 2009

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Escondida (銅:k t)*1	554.7	157.0	178.2	116.8	102.7	86.6	86.6			
Escondida (銅カソード:k t)	148.1	30.1	40.3	35.6	42.1	45.0	45.0			
Cerro Colorado(銅カソード:k t)	104.1	28.7	27.3	21.8	26.3	26.5	26.5			
Spence (銅カソード:k t)	164.8	41.6	43.0	35.7	44.5	47.7	47.7			
Antamina (銅:k t)*1	111.9	24.1	30.8	28.4	28.6	25.7	25.7			
Pinto Valley (銅:k t)	50.5	9.6	12.0	14.2	14.7	4.4	4.4			
Pinto Valley (銅カソード:k t)	6.7	1.8	1.6	1.6	1.7	1.5	1.5			
Olympic Dam(銅カソード ER:k t)	182.6	32.9	53.2	51.9	44.6	45.4	45.4			
Olympic Dam(銅カソード EW:k t)	13.4	3.1	4.4	2.9	3.0					
Cannington (鉛:t)*1	241,437	67,505	52,601	57,768	63,563	46,259	46,259			
Antamina (鉛:t)*1	1,839	380	575	484	400	976	976			
Cannington (亜鉛:t)*1	59,627	13,735	17,244	14,449	14,199	12,943	12,943			
Antamina (亜鉛:t)*1	99,428	22,235	26,210	27,312	23,671	26,454	26,454			
Escondida (金:t)*1	2.0	0.5	0.5	0.4	0.6	0.5	0.5			
(金:oz)*1	67,392	17,660	17,501	14,391	17,840	17,469	17,469			
Olympic Dam (金:t)*2	3.0	0.6	0.6	0.9	0.9	0.7	0.7			
(金:oz)*2	94,370	18,555	20,505	27,360	27,950	23,331	23,331			
Escondida (銀:t)*1	93.9	24.6	25.5	20.8	23.0	20.9	20.9			
(銀:k oz)*1	3,017	790	821	668	738	673	673			
Antamina (銀:t)*1	113.4	25.0	30.9	29.0	28.5	31.2	31.2			
(銀:k oz)*1	3,644	803	994	932	915	1,003	1,003			
Cannington (銀:t)*1	1,074.9	293.0	223.4	261.0	297.5	211.6	211.6			
(銀:k oz)*1	34,558	9,421	7,181	8,391	9,565	6,802	6,802			
Olympic Dam (銀:t)*1,*3	25.2	5.3	5.6	7.0	7.3	6.2	6.2			
(銀:k oz)*1,*3	826	169	179	244	234	200	200			
Pinto Valley (銀:t)*1	7.1	1.2	1.9	2.0	2.0	1.6	1.6			
(銀:k oz)*1	228.6	38.4	61.7	65.2	63.3	52	52			
Olympic Dam (U ₃ O ₈ :t)*4	3,980	993	1,027	1,100	860	883	883			
Antamina (Mo:t)*1	2,049	580	590	514	365	318	318			
Pinto Valley (Mo:t)*1	140	-	-	94	46	19	19			
CMSA (ニッケル:k t)*5	41.6	7.8	10.1	10.7	13.0	13.1	13.1			
Yabulu (ニッケル:k t)*5	35.1	6.2	10.3	9.1	9.5	7.5	7.5			
Nickel West (ニッケル:k t)*5	85.8	29.0	22.1	7.0	27.7	26.9	26.9			
Yabulu (Co:k t)*5	1.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2			
Worsley (アルミナ:k t)	2,969	712	768	733	756	688	688			
Paranam (アルミナ:k t)	970	247	240	241	242	226	226			
Alumar (アルミナ:k t)	542	136	141	124	141	137	137			
Hillside (アルミニウム:k t)	688	167	170	175	176	174	174			
Bayside (アルミニウム:k t)	123	44	29	25	25	24	24			
Alumar (アルミニウム:k t)	179	45	45	45	44	44	44			
Mozaal (アルミニウム:k t)	252	62	61	64	65	62	62			
Mt. Newman JV (鉄鉱石:k t)	28,494	7,265	7,013	7,210	7,006	6,440	6,440			
Goldsworthy JV (鉄鉱石:k t)	1,215	386	251	232	346	558	558			
Area C JV (鉄鉱石:k t)	33,665	7,114	8,626	9,209	8,716	9,181	9,181			
Yandi JV (鉄鉱石:k t)	39,670	10,061	10,622	8,961	10,026	9,370	9,370			
Jimblebar (鉄鉱石:k t)	5,215	1,660	1,054	1,461	1,040	1,070	1,070			
Samarco (鉄鉱石:k t)	9,262	1,933	2,357	2,751	2,221	1,569	1,569			
南ア国内(マンガン鉱石:k t)*6	3,443	877	882	929	755	351	351			
豪州国内(マンガン鉱石:k t)*6	3,316	789	969	901	657	382	382			
南ア国内(マンガン合金:k t)*6	494	125	124	133	112	51	51			
豪州国内(マンガン合金:k t)*6	272	67	66	70	69	53	53			
BMA (原料炭:k t)	23,905	4,232	6,508	6,384	6,781	5,165	5,165			
BHP Mitsui Coal(原料炭:k t)*7	5,557	847	1,306	1,633	1,771	549	549			
Illawarra (原料炭:k t)	5,876	1,767	1,318	1,193	1,598	1,882	1,882			
南ア国内(燃料炭:k t)	39,129	11,129	10,960	9,009	8,031	6,929	6,929			
米国内(燃料炭:k t)	14,492	2,636	4,834	4,005	3,017	2,907	2,907			
豪州国内(燃料炭:k t)	11,869	2,965	2,934	2,975	2,993	2,768	2,768			
コロンビア国内(燃料炭:k t)*8	10,420	2,553	2,625	2,807	2,435	2,618	2,618			

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) 金地金

*3) 銀地金

*4) 精鉱中のウラン酸化物(U₃O₈)量

*5) ニッケル精鉱、地金及びニッケルマット中の金属純分量

*6) 100%ベース (BHP Billitonの権益は60%)

*7) 100%ベース (BHP Billitonの権益は80%)

*8) 100%ベース (BHP Billitonの権益は33%)

(4) 開発(非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (m US\$)	生産 開始	生産能力*2	進捗状況
Alumar 精錬所拡張 (36%、ブラジル)	アルミナ	900	2009年 Q2	アルミナ 200万t/年	・見直後の予算でのスケジュールで進行 中。 ・エンジニアリングは完了、資材調達はほ ぼ完了。 ・建設は90%完了。 ・プロジェクトは95%完了
Worsley 精錬所拡張 (86%、WA州)	アルミナ	1,900	2011年 H1	アルミナ 110万t/年	・生産開始時期、計画及び予算は計画通 り。 ・エンジニアリングは58%完了。 ・建設を開始。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA州)	鉄鉱石	1,850	2010年 H1	鉄鉱石 26m t/年 追加	・スケジュール、予算とも計画通り。 ・エンジニアリングは95%以上完了。 ・建設作業は、80%近く完了。
Rapid Growth 5 (RGP4) (85%、WA州)	鉄鉱石	4,800	2011年 H2	鉄鉱石 50m t/年 追加	・スケジュール、予算とも計画通り。 ・エンジニアリングは50%完了。 ・資材調達は順調。 ・建設を開始。
Gemco プロジェクト (60%、北部準州)	マンガン	110	2009年 H1	マンガン精 鉱 1m t/年追 加	・スケジュール、費用とも計画通り(現地 通貨ベース)。 ・プロジェクトは77%完了

*1) 権益相当分 *2) 100%ベース 注) m: 百万

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 31 March 2009, 22 April 2009

(5) 探査

- ・直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2009年Q1までの3か月間のBHP Billitonの探鉱支出額(石油は除く)は147m US\$であった。
- ・主な対象鉱種・対象国
 ベースメタル: 豪州、チリ、アルゼンチン、ザンビア、ガボン
 鉄鉱石・石炭・ボーキサイト・マンガン: 豪州、南米、ロシア、西アフリカ 他
 ダイヤモンド初期探鉱: カナダ

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 31 December 2008, 21 January 2009

(6) その他

- ・特になし

2. Anglo American

(四半期ごとの財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・銅、亜鉛、ニッケルの生産量は、前年同期比でそれぞれ5.4%減、0.1%減、2.2%減
- ・プラチナ、パラジウム、ロジウムの生産量は、前年同期比でそれぞれ5.8%減、4.5%減、27.6%増

(1) トピックス

- ・PGM部門では、2008年12月から約4千人の人員削減を行い、2009年末までに延1万人削減する計画である。
- ・プラチナ、パラジウムは、Wataerval、Polokwane 両製錬所の溶鉱炉整備点検による休止の影響で生産量が前年同期比で減少している。
- ・ロジウムはWataerval 製錬所休止の影響を受けなかったため、前年同期比で27.6%と大幅に増加している。
- ・銅の生産は、Collahuasi 鉱山の生産が増加したものの、Los Bronce 鉱山の鉱石品位及び回収率の低下の影響により、前年同期比で減産となった。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008年			2009年		
	通年計	H1	H2	通年計	H1	H2
売上高	32,964	17,915	15,049			
当期利益	5,215	4,281	934			
売上高利益率(%)	15.82%	23.90%	6.21%			
探鉱費	212	98	114			

(3) 生産状況

主要鉱産物の生産状況

(純分)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石(t)	641,300	159,000	161,000	148,600	172,700	151,000	151,000			
ニッケル鉱石(t)	20,000	4,600	5,000	5,600	4,800	4,500	4,500			
亜鉛鉱石(t)	340,500	82,000	88,200	86,500	83,800	82,800	82,800			
鉛鉱石(t)	62,900	17,100	14,700	16,700	14,400	14,600	14,600			
金(t)	2.4	0.7	0.4	1.3		-	-			
金(oz)	78,500	23,700	14,100	40,700		-	-			
白金(t)	74.2	13.3	17.8	16.9	26.2	12.6	12.6			
白金(oz)	2,386,600	428,600	572,500	543,200	842,300	404,000	404,000			
パラジウム(t)	41.0	7.6	9.4	10.0	14.0	7.3	7.3			
パラジウム(oz)	1,318,800	245,800	300,800	321,700	450,500	235,000	235,000			
ロジウム(t)	9.3	1.8	1.8	2.3	3.3	2.3	2.3			
ロジウム(oz)	299,300	57,500	59,400	75,300	107,100	74,000	74,000			

(4) その他

- ・特になし

3. Rio Tinto

(四半期ごとの財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・ Kennecott Utah、Grasberg 両銅鉱山における鉱石の品位が回復により、前年同期と比較して銅鉱石の生産量が9%増の196ktとなった。

(1) トピックス

- ・ Kennecott Utah 銅山では、銅鉱石と金鉱石がそれぞれ前年同期比 67%増、84%増となった。これは、浮遊選鉱設備の改良により、精鉱品位が改善したことによる。
- ・ Escondida 鉱山では、銅鉱石が前年同期比 33%減となった。これは、同鉱山の銅品位の低下及び粘土を多く含んだ鉱石からの回収率の低下によるもので、2009 年末までには、2008 年の生産水準まで回復する予定。
- ・ ウランの生産量は、前年同期と比較して 0.5%微増の 3,360 k lbs(1,524t)であったが、主力の Energy Resources of Australia による生産が鉱石品位の低下および回収率の低下により 1,883 k lbs(854t)と前年同期比 6%の減となっている。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	通年計	H1		H2		通年計	H1		H2	
売上高	58,065	30,005		28,060						
当期利益	3,676	6,914		-3,238						
売上高利益率	6.33%	23.04%		-11.54%						
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
探鉱費	1,135	159	242	260	474	127	127			

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt 純分)

	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石	698.5	181.1	210.2	160.0	149.1	196.0	196.0			
銅地金	321.6	78.3	82.8	68.9	91.6	104.3	104.3			
モリブデン鉱石	10.6	3.4	2.2	2.9	2.0	2.0	2.0			

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：kt 純分)

鉱山名、製錬所名	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Bingham Canyon (銅鉱石)	238.0	44.7	60.2	69.3	63.8	74.7	74.7			
Escondida (銅鉱石)	384.5	117.2	128.1	73.2	66.0	78.1	78.1			
Grasberg (銅鉱石)	7.1	1.8	1.8	1.8	1.7	24.7	24.7			
Northparks (銅鉱石)	19.8	4.1	4.4	5.2	6.1	6.6	6.6			
Palabora (銅鉱石)	49.1	12.8	15.1	9.9	11.4	11.8	11.8			
Kennecott Utah Copper (SxEw 銅カソード)	200.6	52.1	49.3	40.6	58.6	68.7	68.7			
Escondida (SxEw 銅カソード)	77.3	15.7	21.0	18.6	21.9	23.5	23.5			
Palabora (SxEw 銅カソード)	43.8	10.5	12.4	9.8	11.0	12.1	12.1			

(4) その他

- ・ 2009年2月初旬に合意したChinalcoとの資本提携は、2009年6月に、金融市場の好転によりChinalcoとの提携価値が薄れたことから、総額19.5bUS\$の提携合意を破棄、Chinalcoに対し195mUS\$の違約金を支払った。

4. Vale

- ・2009年Q1の売上高は前年同期比32.6%減の5,421mUS\$、純利益は前年同期比32.6%減の1,363mUS\$となり、売上高、純利益とも大幅な減少となった。
- ・2009年Q1の生産は、鉄鉱石、ペレット、マンガン及びフェロアロイで前年同期比36%~80%の生産減となっているが、非鉄金属について2008年4Qと比較すると10%程度の生産減に留まっており、前年同期との比較では逆に10%程度の生産増となっている。
- ・2009年Q1の投資額は17.15億US\$で前年同期の16.95億US\$から1.2%増であるが、2008年Q4の34.66億US\$との比較では、50.5%減
- ・2009年3月、アフリカ事業を促進させる観点からAfracan Rainbow Mineral (ARM: 本社 Johannesburg)の子会社であるTEAL Exploration & Mining (TEAL) 株50%を65 mUS\$で購入(後述)。

(1) トピックス

【鉄鉱石】

- ・2009年Q1の中国向け鉄鉱石輸出は34.6 mtで同社輸出量の66.5%を占め過去最高に達した(これまでは2008年Q3の28.2 mtが最高)。
- ・低コスト・高品質のCarajás鉄鉱石と比較してMinas Gerais州のSoutheastern system及びSouthern Systemは鉄鉱石品位が低いことから、生産量を各々前年同期比で42.3%、50.0%減とし、Southeastern systemのUrucum鉱山については、2009年1月より操業を休止。

【ペレット】

- ・ペレットは鉄鉱石よりも景気変動の影響を受けやすいことから、在庫積増しを取り止めるとともに、Tubarão I、Kobrasco及びVargem Grandeのみで中国向けペレット生産を実施し、残り5つのプラントでは操業を休止。
- ・2009年Q1のペレット生産量は、前年同期比76.3%減の1,736 ktへ大幅に減少した。

【マンガン】

- ・鉄鋼用マンガン需要の低下から、同社最大のAzulマンガン鉱山について2008年12月に操業を停止し、2009年3月に操業を再開した(2008年Azul鉱山のマンガン生産量は、2,000 ktで同社マンガン生産の83%を占める)。
- ・2009年Q1のマンガン生産量は、前年同期比79.2%減の113 ktへ大幅に減少した。

【アルミナ】

- ・高コストであるValesulのアルミナプラントについて、2008年10月から生産能力95k t/年のうち、自家発電で操業を維持できるレベルの40%まで稼働率を低下させた。

【銅】

- ・戦略的成長機会の一環として、アフリカカッパーベルトでの銅生産を念頭にARM子会社のTEAL株50%を購入。
- ・TEALは、ザンビアKonkola Northプロジェクト及びコンゴ民Kaluminesプロジェクトの100%権益を保有(Konkola Northプロジェクトについては、ZCCMの20%権益獲得オプションを保有)。

○Konkola Northプロジェクト※

推定資源量219 mt(品位Cu 2.64%)

銅地金45k t/年を生産予定

Bankable FS実施中

○Kaluminesプロジェクト※

確定及び推定資源量26.2 mt(品位Cu 2.439%)

※Afracan Rainbow Mineral Annual Report (30.06.2009)より抜粋。

(2) 財務状況 *US GAAP 準拠

(単位 : mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	38,509	8,048	10,897	12,122	7,422	5,421	5,421			
当期利益	13,218	2,021	5,009	4,821	1,367	1,363	1,363			
売上高利益率(%)	34.6	25.0	46.0	39.8	18.4	25.1	25.1			
探鉱費	—	—	—	—	—	—	—			

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

(単位 : k t)

	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
鉄鉱石	293,374	72,712	76,196	83,252	61,214	46,754	46,754			
ペレット	34,252	8,699	8,714	9,514	7,324	1,736	1,736			
マンガン鉱	2,383	541	658	694	491	113	113			
フェロアロイ	475	132	128	130	84	48	48			
アルミナ	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	1,482	1,482			
アルミニウム	543	132	136	140	135	121	121			
銅	312	73	76	80	82	73	73			
カリウム	607	166	167	172	102	186	186			
カオリン	1,129	297	288	314	231	138	138			
ニッケル	275	61	69	72	73	65	65			
コバルト(t)	2,828	615	671	750	792	713	713			
プラチナ(k oz)	166	36	43	44	43	39	39			
パラジウム(k oz)	231	48	54	66	62	53	53			
金(k oz)	85	22	19	24	21	24	24			

2) 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位 : k t)

鉱山名・製錬所名	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Carajas(鉄鉱石)	96,495	24,199	23,239	26,751	22,306	20,277	20,277			
Azul(マンガン鉱)	2,003	504	546	561	392	43	43			
Alunorte(アルミナ)	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	1,482	1,482			
Albras(アルミ)	455	112	113	115	115	112	112			
Sossego(銅)	126	30	30	33	33	30	30			
Sudbury(銅)	115	28	29	31	28	25	25			
Sudbury(ニッケル)	85	18	20	18	29	22	22			
Voisey's Bay(ニッケル)	78	18	18	22	19	17	17			
Indonesia(ニッケル)	68	15	19	19	15	16	16			

5. Xstrata

- ・2008 年 Q1 の生産は、石炭、ニッケル、プラチナ、亜鉛及び鉛の生産は増加。他方、フェロクロム、金等は減産。
- ・株主割当増資により、37 億 US\$の負債を返済するとともにリストラ等により財務状況を改善。
- ・今後の景気回復に向けて既存鉱山の補修などの準備を実施中。

1. 最近のトピックス

- ・同社が 1 月 29 日に宣言した 59 億 US\$の株主割当増資は、3 月 17 日までに株式の 99.42%を所有する株主が応諾。これにより得た資金により 37 億 US\$の負債を返済し、財務状況を改善(借入金比率(注)は昨年末の 40%から 30%に低減。)。((注)借入金/(資本金+借入金))
- ・Glencore が 34%権益を有するコロンビアの世界水準の Prodeco 炭鉱を 20 億 US\$で買収。
- ・2009 年 Q1 の生産は、石炭(一般・コークス用)、ニッケル、プラチナ、亜鉛精鋼、及び鉛地金の生産は前年同期比で増加。特に、鉱物資源では、亜鉛精鋼の生産がカナダ・マタガミ地域の Perseverance 亜鉛鉱床からの新規生産やその他の生産改善により 21%の増加。
- ・1 月には、Xstrata-Merafe クロム事業における 6 基のクロム鉄炉の一時停止を表明し、フェロクロムの年間生産能力の 80%を停止。
- ・2 月には、豪州 McArthur River 亜鉛・鉛鉱山露天掘開発について最終的な認可取得。
- ・そのほか、以下のとおり今後の景気回復に備えた準備を開始。
 - Xstrata Nickel: 2 月、カナダ Sudbury における Fraser コンビナートの補修、Strathcona Mill の減産、Fraser Morgen 事業の一時停止。
 - Xstrata Zinc: 2 月末、豪州 Mount Isa 地域の事業のリストラを行い、増産とコストカットを実施。Handleber Hill 鉱山は補修されるが、高品位な George Fisher 鉱山の坑内掘と大規模低コストの Black Star 鉱山の露天掘の増産で対応予定。
 - Xstrata Copper: カナダの Kidd 鉱山の銅製錬所を硫酸市場の低迷を受けて 4 月中旬から 8 週間停止。
 - Xstrata Nickel Australasia: 4 月、豪州 Sinclair 鉱床での坑内掘を一時停止し、補修が終わる 8 月までは露天掘のみ継続予定。

2. 財務状況(四半期毎のデータ更新なし)

(単位:mUS\$)

区分	2008 年			2009 年		
	通年計	H1	H2	通年計	H1	H2
売上高	27,952	16,092	11,860			
営業利益(EBIT)	9,645	5,687	3,958			
当期損益(Attributable Profit)	4,698	2,829	1,869			
売上高利益率	16.8%	17.6%	15.8%			
資本支出(探鉱費含む)(Capital Expenditure)	5,123	2,164	2,959			
銅部門	1,115	434	681			
ニッケル部門	1,912	771	1,141			
亜鉛部門	655	305	350			
その他	1,441	654	787			

3. 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Xstrata Copper										
銅鉱石(精鉱 t)	952,426	219,978	224,291	234,615	273,542	217,092	217,092			
金(oz)	687,212	177,172	154,516	141,478	214,046	144,746	144,746			
Xstrata Nickel										
ニッケル鉱(精鉱 t)	54,523	11,785	14,825	13,620	14,293	15,203	15,203			
フェロニッケル鉱石(精鉱 t)	18,782	6,866	7,529	4,387	0	-	-			
銅鉱石(精鉱 t)	27,703	6,789	8,426	6,935	5,553	7,403	7,403			
コバルト(t)	1,341	315	368	323	335	398	398			
Xstrata Zinc										
亜鉛鉱(精鉱 t)	861,033	182,702	198,076	241,881	238,374	221,729	221,729			
亜鉛地金(t)	795,565	205,682	206,261	208,818	174,804	190,310	190,310			
鉛鉱石(精鉱 t)	251,496	64,572	63,181	64,392	59,351	49,824	49,824			
鉛地金(t)	220,391	57,374	56,098	46,273	60,646	61,267	61,267			
Xstrata Alloys										
フェロクロム(k t)	1,126	305	310	308	203	73	73			
五酸化バナジウム(k lb)	16,604	4,520	2,407	4,803	4,874	3,540	3,540			
フェロバナジウム(k kg)	3,622	1,057	471	1,026	1,068	731	731			

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む。

2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況(四半期ごとのデータ更新なし)

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2008年			2009年		
	通年計	H1	H2	通年計	H1	H2
銅 (k t)						
Alumbrera(アルゼンチン)精鉱(50%)	157	66	91			
Mount Isa (豪)精鉱	152	71	81			
Collahuasi(チリ)精鉱(44%)	415	199	216			
Antamina(ペルー)精鉱(33.75%)	344	169	175			
Townsville(豪)地金	267	119	148			
CCR(カナダ)地金	345	180	165			
亜鉛 (k t)						
Mount Isa(豪)精鉱	283	129	154			
McArthur River(豪)精鉱	142	67	75			
Brunswick(カナダ)精鉱	242	116	126			
San Juan de Nieva (スペイン)地金	450	223	227			
Kidd Creek(カナダ)地金	121	74	47			
鉛 (k t)						
Mount Isa (豪)精鉱	140	73	67			
Brunswick(カナダ)精鉱	70	32	38			
Brunswick(カナダ)地金	81	42	39			
Northfleet (英)地金	139	71	68			
ニッケル (k t)						
Sudbury(カナダ)Ni-Cu matte*	65	30	35			
Raglan(カナダ)精鉱	26	12	14			
Falcondo(ドミニカ)FeNi(85.3%)	19	14	5			
Nikkelverk(ノルウェー)地金	89	44	45			

4. その他

- ・ 特になし。

6. Glencore Q1 (2009年1~3月)

- ・ 2008年の財務報告
- ・ 2009年のQ1の主なトピックスとしては、ペルーでの亜鉛山の閉山、Doe Run PeruのLa Oroya製錬所の救済に参加、DRCコンゴに銅コバルトプロジェクトを擁するKatanga Miningへの融資等がある。

○Glencoreの2008年の純利益は前年の52億US\$から48億US\$へと8.5%減少した。銅、アルミニウム、その他のメタル、石油、石炭などの価格低迷のため、資産価値の減損処理、前受け代金の払い戻し、在庫評価損などで37億US\$の特別損失を計上した。売上高は1,423億US\$から1,522億US\$に上昇した。(2009年3月)

(1) M&A、業務提携

①Xstrataの59億US\$の株主割当に同意

2009年1月末、Xstrataは、債務削減と世界経済回復時に備えるため59億US\$(88億A\$)の新株発行を発表した。これにより債務が163億US\$から126億US\$に、資金調達力比率は40%から30%以下に減少する。2009年2月にXstrataの筆頭株主であるGlencore(株式の約34.5%を保有)は株主割当およびGlencore保有のコロンビアのProdeco炭鉱(一般炭)をXstrataに20億US\$で売却することで合意した旨(Glencoreは、22.5億US\$で1年間の買戻オプション権を保持)を発表した。(2009年2月)

②Katanga Miningに合計265.3百万US\$を融資

GlencoreによるKatanga Miningへの合計265.3百万US\$を融資が株主に承認された。この融資により8.5%から87.7%に権益比率が増加しKatanga Miningの全面的な支配に近づいた。この融資はDRCコンゴのkov銅・コバルトプロジェクト(年産能力:銅SxEwカソード40万t、コバルト4万t)のLuiilu選鉱場の選鉱施設(70千t/年の処理能力)の維持に使用され、最終的には処理能力150千t/年まで拡張される(2009年2月)

③Century Aluminiumに60百万US\$を出資

Glencoreは60百万US\$を投入しCentury Aluminium社(米CA州)の権益を38.2%に上げた。Century Aluminium社はアルミ価格低迷の影響で、17万t/年規模のWV州のRavenswoodアルミ精錬所を2月20日までに閉鎖予定で、同精錬所維持には月6~7百万US\$の費用を要する。(2009年2月)

(2) 探査開発

③ペルー-ボリビア国境地帯の鉱区を取得

ペルー・エネルギー鉱山省は、Los Quenuales社(Glencoreの現地法人)に対してボリビアとの国境から50km内のPuno県に位置する1鉱区取得を承認した。ペルーでは、原則として国境50km圏内の鉱区取得を禁じているが、地域社会に便益を与えるプロジェクトに関しては例外として、ペルー軍部の了解取付けを前提とし、例外的に認めている。(2009年2月)

(3) 操業

①豪Murrin Murrinニッケル鉱山を保有するMinara Resourcesの2008年実績

Minara Resources(本社:WA州Perth、Glencore(本社:Baar)が70.6%を所有)は、2009年2月20日に発表した年次報告書の中で、2008年は19.8百万A\$の純損失となったことを明らかにした。2007年が270.5百万A\$と純益だったことから厳しい結果となった。

2008年のニッケル平均価格は21,068US\$/tと、2007年に比べ約半額となったことが影響しており、同社の主力鉱山であるWA州のMurrin Murrinニッケル鉱山(Minara Resources60%、Glencore40%(実質的にGlencore82.36%))に要する費用や、投資支出の削減を行わざるを得ないとしている。Murrin Murrin鉱山・製錬所の現状の生産能力は30,000t/年である。(2009年2月)

②ザンビアMopani鉱山会社を巡る動き

Equinox Mineralsが保有するLumwana銅山(資源量:銅量ベースで6.3百万t、年産規模:銅169千

t)は、2008年12月より生産を開始した。その精鉱生産量の約28%については、今後5年間、Mopani Copper Mines(権益: Glencore 73.1%、First Quantum 16.9%、ZCCM 10%)が操業するMufulira製錬所が引取る契約となっているが、2009年1月に精鉱の品質が契約条件を満たしていないとして、引取りを拒否した。その後、Equinoxは3月に中国有色金属集団などが保有するChambishi製錬所に売鉱することを決定した。

なお、2009年1月にザンビア政府は鉱業保護のため、25%の超過利得税の導入を延期すると発表し、Glencore、First Quantumに雇用維持、同国の主要産業である銅鉱業の継続のため、Mopani Copper Minesの操業継続を求めた。

(2009年3月)

③ペルー、Iscaycruz 亜鉛鉱山操業を停止

Glencoreは、同社最大のIscaycruz 亜鉛・鉛鉱山(Lima県)を、価格低迷を理由に操業停止したことを発表した。現在、銀を生産するYauliyacu 鉱山(Lima県)のみが操業している状況となっている。同社は、2008年3月から亜鉛価格は40%下落し操業継続は採算に合わず不可能で、採算性の高いプロジェクトを目標に現在探鉱に注力していることを明らかにした。Iscaycruz 鉱山の2008年生産量は亜鉛175kt、鉛14ktであり、ペルーにおけるGlencoreの鉱石生産の半分以上を担ってきた。同社の亜鉛鉱石生産の15%を占めていたRosaura 鉱山も2008年12月から操業停止状態で同社は、既にペルー国内人員の15~20%削減計画を発表していた。(2009年4月)

(4) その他

①Glencoreが管財人である豪州、Matrix Metalsが銅山の売却先を模索

銅価下落により多額の負債を抱えているMatrix Metals(本社: Perth)は、2008年11月以降ASX(豪州証券取引所)での取引停止となり、Glencoreが管財人となっている。

2008年12月末、GlencoreからMatrix Metalsの資産売却の要請を受けたDeloitteは、QLD州のMt. Isa近郊に位置する銅山等の売却先としてXstrataを含む30社以上が名乗り出ていると発表した。それら鉱業資産には、Mt. Watson(露天掘: OP)及びMt. Cuthbert(OP)、SxEw精製所(生産能力9,000t/年)、関連鉱区等が含まれている。

なお、Mt. Isaの北西140km地点にLady Annie銅山(OP、SxEw、2007/08年度生産量11,082t、Glencoreとオフテイク契約を締結)を操業するCopperCo社も管財人の管理下にあり、資産売却先を探している状況にある。(2009年1月)

②ペルー、Casapalca 鉱山、落盤事故

業界紙等によると、2月7日、Glencoreが保有するCasapalca(Yauliyacu) 亜鉛・鉛・銀鉱山の坑道の一部が崩落し、豪雨の影響もあり救出作業は難航し、労働者5名が坑内で死亡した。鉱山側は自然災害であると主張しているが、労組側は、事故原因は、安全対策の欠如に加え、管理側から坑内従業員に対し、坑道掘削を急ぐよう度重なる圧力があったことを指摘した。なお、同鉱山では、2005年6月にも労働者3名が坑内から22m地点で生き埋めになる死亡事故が発生している。この事件に関し、OSIMERGMIN(鉱業エネルギー投資監督庁)による事故原因・責任の所在に関する調査を開始し、労働雇用促進省は危機管理システム、鉱山内の安全委員会、労災保険の有無を調査している。(2009年2月)

③Doe Run Peru社のLa Oroya製錬所の融資による救済に参加

資金不足により操業停止の状態に陥っていたDoe Run Peru社のLa Oroya製錬所に対する救済措置に関して、政府による救済ではなく、La Oroya製錬所を利用する鉱山15社による融資が行われることが明らかになった。15社のうちにBuenaventura、VolcanとともにGlencoreも含まれている。融資の総額は175百万US\$であり、このうち100百万US\$は精鉱の提供によって実施され、75百万US\$は銀行からの融資をこれら企業が債務保証する。(2009年4月)

7. CODELCO

- ・ 2009 年 Q1 の El Abra 鉱山を除く CODELCO 売上高は、前年同期比 53.3%減の 13.4 億 US\$、純利益はマイナス 0.1 億 US\$となった。2008 年 10 月以降の銅価格低下の影響によるもの。
- ・ 2009 年 Q1 の銅生産量(El Abra 含む)は、前年同期比 6.3%増の 390k t となった。
- ・ 2008 年 Q1 のキャッシュコストは前年同期の 41.1¢/lb から 130%上昇し 95.2¢/lb となった。

(1) トピックス

[主要プロジェクトの開発・操業状況]

・ 現在進行中のプロジェクト

名称	投資額 mUS\$	概要	生産規模 Cu kt	操業開始	進捗率 %
Pilar Norte, El Teniente	121	・新規鉱体開発 埋蔵量:37.6 mt 品位:Cu 1.32%、Mo 0.032%	55.0	2010Q1	66.7
PDA I Plan de Desarrollo Andina I	937	・露天掘ピット及び新規選鉱処理系統建設(破碎、磨鉱、浮選設備) ・粗鉱処理:72kt/日→94.5kt/日	30.0	2010Q1	60.9
RTS (Radomiro Tomic Sulfide)	370	・ピット周辺に 110×60inch のジャイレトリ ー・クラッシャー設置 ・Chuquicamata まで全長の破碎鉱石運搬 用ベルトコンベア敷設 (8.1km: 鉱石運搬量 100k t/日) ・Chuquicamata 鉱山での貯鉱場及び配鉱 設備建設	160.0	2010Q2	40.7

[企業、鉱山、開発権益等の買収売却、アライアンス情報]

- ・ 12 月中旬に ENAMI より譲与された Los Bronces 鉱山権益の 49%オプション権につき、2009 年は行使しないことを決定(次回は 2012 年)。
- ・ 2009 年に償還を迎える債務返済を目的として、ニューヨーク証券取引所(NYSE)で 600 億 US\$の債権発行(期間 10 年、利率 7.5%)。

[インフラ、技術開発等]

- ・ 第 II 州において、Gaby 鉱山への電力供給を目的として、20~40MW の風力発電所建設に係る入札を実施(資金規模最大 45 m US\$: 2009 年 Q3 に入札企業決定予定)。
- ・ Mejillones にて建設中の LNG プラント(Phase1)※工事進捗率 70%
- ・ CODELCO 及び日鉱金属の合併会社の Bio Sigma が米国で硫化鉱浸出を促進する Micro-Organism の特許を取得。

※Mejillones LNG プラント(Phase1)

実施主体 : GNL Mejillones SA (CODELCO 50%、Suez Energy International 50%)

概要 : 栈橋 1 本、LNG 再気化プラント(5.5m³/日 : 1,100MW 発電規模相当)

予算 : 500 mUS\$

建設完了 : 2010 年 Q1 予定

発電用ガス供給先 : Codelco Norte Escondida, Collahuasi, El Abra(450MW 相当)
(2010 年から 3 年間 :)

(2) 財務状況

(mUS\$)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	8,742	2,865	2,612	1,765	1,500	1,339	1,339			
当期利益	1,567	665	724	206	(28)	(10)	(10)			
売上高利益率(%)	17.9	23.2	27.7	11.6	(1.8)	(0.7)	(0.7)			

売上高、当期利益はEl Abra 鉱山を除く

(3) 生産状況

①主要鉱産物の生産状況

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱(k t)	1,548	366	350	392	440	390	390			
モリブデン鉱(k t)	21	7.0	3.0	5.0	6.0	5.0	5.0			

②主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位: k t)

鉱山名・製錬所名	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
CODELCO Norte (100%)	755	184	197	171	203	176	176			
Salvador (100%)	43	14	11	11	7	15	15			
Andina (100%)	220	56	47	56	61	55	55			
El Teniente (100%)	381	93	74	104	110	88	88			
El Abra (49%)	81	19	21	21	20	19	19			
Gabriela Mistral (100%)	68	-	-	29	39	39	39			
キャッシュコスト(¢/lb)	70.2	41.4	60.1	63.2	70.2	95.2	95.2			

生産量は銅金属純分

Q2以降のキャッシュコストは累積平均

El Abra 鉱山の生産量はCODELCO シェア分

8. Freeport-McMoRan Copper & Gold (FCX)

- ・純利益 43mUS\$を確保するも、前年同期比 1,079mUS\$、96%それぞれ減。
- ・探鉱開発事業の多くを凍結。
- ・DRC コンゴ Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山で銅カソード生産開始。

(1) トピックス

① 開発

- ・北米事業：モリブデン価格低迷により米 Colorado 州 Leadville の Climax 鉱山再開工事を中断。
- ・南米事業：銅価格低迷により El Abra 銅山(チリ)の大規模硫化鉱床開発を中断。
- ・インドネシア事業：Grasberg 銅・金山では露天掘ピット下部の坑内掘移行工事を、投資額を絞って進行。
- ・アフリカ事業：DRC コンゴ・Katanga 州で Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山開発(所有権益 57.75%)を手掛ける。第一段階として埋蔵量 1.2 億 t(品位 Cu 2.6%、Co 0.35%)を開発中であり、3 月下旬に SxW による銅カソードの生産が始まった。当面は年産銅 250m lb(113kt)、コバルト 18m lb(8kt)の体制で操業する。投資計画額 17 億 5 千万 US\$のうち、16 億 US\$を 3 月末までに支出。投資額の 70%を FCX が負担する。また、DRC コンゴ政府による契約見直しについて協議中。

② 探鉱

2008 年に行った既存鉱山周辺探鉱で得たデータ解析を中心に実施。北米では Morenci、Bagdad、Sierrita、南米では Cerro Verde、アフリカでは Tenke Fungurume において、それぞれ埋蔵鉱量増大の可能性を示唆する良好な結果を得ている。2009 年投資額は 0.75 億 US\$を計画(2008 年実績は 2.48 億 US\$)。

③ 2009 年販売計画の変更

- ・Cu：2009 年計画 177 万 t(変更無し)
- ・Mo：2009 年計画 2.3 万 t(2.7 万 t から 17%減)
- ・Au：2009 年計画 72t (68t から 5%増)

④ 増資

2 月に 26.8 百万株、1 株当たり 28US\$、総額 7.5 億 US\$の公募増資を実施。資金は、探鉱開発投資、運転資金、債務返済などに充当。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 (Revenues)	17,796	5,672	5,441	4,616	2,067	2,602	2,602			
営業利益 (Operating income)	-12,710	2,396	2,053	1,133	-18,292	672	672			
純利益 (Net income applicable to common stock)	-11,341	1,122	947	523	-13,933	43	43			
売上高利益率	—	19.8%	17.4%	11.3%	—	1.7%	1.7%			
探鉱費(Exploration and research expense)	292	52	80	77	83	30	30			

(3) 主要鉱産物の生産状況

鉱種	鉱山	2008年					2009年				
		通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (kt: 金属 純分)	Morenci(85%) *	284	66	70	74	73	51	51			
	Bagdad	103	24	24	27	28	25	25			
	Sierrita	85	19	22	21	24	19	19			
	Chino	70	20	21	16	13	4	4			
	Tyrone	34	7	7	10	11	10	10			
	Miami	9	2	2	2	2	2	2			
	Tohono	1	0	0	0	0	0	0			
	Safford	60	10	11	20	20	21	21			
	その他	2	1	0	0	0	0	0			
	北米計	649	148	159	170	172	131	131			
	Cerro Verde(53.56%)	315	75	81	79	79	76	76			
	Candelaria/Ojos del Salado(80%)	202	45	44	58	55	44	44			
	El Abra(51%)	166	39	42	42	43	39	39			
	南米計	683	160	167	179	177	158	158			
	Grasberg(90.64%) *	496	91	101	116	189	183	183			
	中計	1,828	399	427	464	538	472	472			
	他社権益分	-314	-72	-77	-80	-86	-80	-80			
合計	1,514	327	350	385	451	392	392				
金 (t)	北米	0	0	0	0	0	0	0			
	南米(80%)	4	1	1	1	1	1	1			
	インドネシア(Gras berg:90.64%) *	36	8	7	8	13	18	18			
	小計	40	9	8	9	15	19	19			
	他社権益分	-4	-1	-1	-1	-2	-2	-2			
合計	36	8	7	8	13	17	17				
モリブ デン (kt: 金属 純分)	Henderson	18	4	5	6	3	3	3			
	北米(副産物) *	14	4	3	3	4	3	3			
	Cerro Verde(53.56%)*(副産物)	1	0	0	0	0	0	0			
	合計	33	8	8	10	7	6	6			

* JV相手の権益分を除いた生産量である

9. Kazakhmys

- ・2009年Q1は、銅市場の低迷から、収益性の低い4鉱山の生産を停止し、他社からの銅精鉱の購入を控え、亜鉛製錬所も一時停止した。
- ・その結果、銅精鉱は前期比19.3%減、銅カソードは前期比19.3%減、銅ロッドは86.5%減となった。また、副産物については、亜鉛精鉱は自社鉱石が減少したものの他社からの購入などから前期比21.3%増、銀の生産はほぼ横ばいの3.2%減、金は自社精鉱は増加したものの次期に繰り越され、生産では7.6%減となった。
- ・販売については、欧州及び中国での販売が堅調。また、Ekibastuz発電所は、経済低迷の影響から発電量が前期比27%減。

1. 最近のトピックス

- ・2009年Q1は、前期末に表明しているとおり、銅市場の低迷など不安定な経済状況の下では、収益性の低い生産を控えて資金の内部留保を維持する方針が堅持された。なお、Ekibastuz発電所の買収の際に拡大した負債額は、前期末1,628mUS\$から1,645mUS\$とほぼ横ばいで推移している。
- ・こうしたことから、2008年末以降、所有する20鉱山のうち高コストである4鉱山(Balkhash complex : Kounrad、East地域 : Belousovsky、Karaganda地域 : Nurkazgan North、Akbastau)の生産を停止したほか、Karaganda地域のKosmurun鉱山は露天掘鉱床涸渇のため地下鉱床へ移行、Abyz鉱山も一時的に生産を停止している。そのため、銅鉱石の生産は、前期比13%減、前年同期比6%減の7,760 ktとなった。
- ・銅の品位は、1.20%と前期1.27%から若干低下した。これは高品位であるAkbastau鉱山について、現在の銅価では輸送コストが高過ぎることから生産停止しているためである。一方、Karaganda地域のNurgazgan鉱床(坑内掘予定)及びEast地域のOrlovsky鉱山からは生産が増加している。
- ・銅精鉱の生産は、銅鉱石の減産、他社購入分の停止に伴い前期比19.3%の減となったが、前年同期比で見ると1.6%の増加となった。この理由としては、業務プロセスの改善、前年同期の悪天候と比較して天候が良好であったことが挙げられる。
- ・銅カソード生産については、前期比19.3%減となったが、前年同期比で見ると1.8%増となった。この要因はいずれも自社精鉱量の増減と連動している。なお、市場が低迷している限り、他社からの銅精鉱の購入を止めることとしており、2009年中は継続予定である。
- ・なお、銅ロッド生産量が、前期比86.5%減、前年同期比84.3%減となっているが、これは利益率が低いことから生産を国内需要向けのみ限定したためである。
- ・亜鉛精鋼の生産は、自社鉱石は減少したものの、他社分や備蓄の鉱石の活用により前期比21.3%増、前年同期比18.5%増となった。他方、亜鉛の生産は自社精鉱の減少から前期比30.1%減、前年同期比30.6%減となった。なお、亜鉛の製錬所は前期末に表明したとおり2009年3月から生産を一時停止している。
- ・銀の生産は、前期比3.2%減とあまり変わらない水準を維持した。これは冬季の天候不良により生産が落ち込んだ前年同期より10.4%高い生産水準である。一方、金の生産は、前期比・前年同期比ともに7.6%減であった。これは自社精鉱量は増加したものの、そのすべてが生産されず、次期に繰り越されたためである。
- ・販売面では、欧州及び中国への販売が堅調で、特に銅カソードの中国への販売量が第一四半期の生産量を超えたため在庫が減少した。また、2008年2月に買収したEkibastuz発電所の発電量は、経済低迷の影響から前期比27%減となった。

2. 財務状況(四半期ごとのデータ更新なし)

(単位 : m US\$)

	2008 年			2009 年		
	通年計	H1	H2	通年計	H1	H2
売上高	5,151	2,388	2,763			
税引前利益 (EBITDA)	2,056	1,050	1,006			
当期損益 (Profit for the Period)	910	610	300			
売上高利益率	17.7	25.5	10.9			
資本支出(探鉱費含む) (Capital Expenditure)	701	373	328			

注) 下半期は、通年及び上半期データより計算。

3. 生産状況(主要鉱産物生産状況)

鉱産物	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅精鉱(k t)	399.8	86.0	99.8	105.7	108.6	87.4	87.4			
銅カソード(k t)	378.1	84.1	90.2	98.3	105.5	85.6	85.6			
銅ロッド(k t)	48.3	13.4	4.6	9.1	15.6	2.1	2.1			
亜鉛精鉱(k t)	137.3	33.6	37.6	38.2	32.8	39.8	39.8			
亜鉛地金(k t)	47.5	12.4	15.0	10.6	12.3	8.6	8.6			
金(k oz)	123.5	31.4	31.4	29.4	31.4	29.0	29.0			
銀(k oz)	16,710	4,020	4,309	3,794	4,587	4,437	4,437			

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) Q2 及び Q4 生産量は、それぞれ半期データと前半期データとの差分

4. その他

- ・ 特になし。

10. Teck

- ・2009年Q1の純利益は241mC\$と発表。経済環境はQ1で多少は良くなっているものの、まだ厳しい状況のなかで運営が続くものとの見解を示す。
- ・2009年Q1の売上高は 昨年同期の1,542mC\$と比較して約11%増しの1,708mC\$となった。

(1) トピックス

- ・チリのLobo-Marté 金鉱山の権益を141mUS\$で、Sociedad Minera El Brocal S. A. A. の権益を35mUS\$で売却。そのうちの101mUS\$は4月に入手。
- ・加ON州のWilliams 金鉱山、David Bell 金鉱山からなるHemlo 金オペレーションの50%権益をJVパートナーのBarrick Gold社に65mUS\$で売却することを発表。契約手続きの完了はQ2になる予定。
- ・Teck社が90%の権益を所有するチリAndacollo社がAndacollo 鉱山を300mUS\$で米CO州Royal Gold社に売却することを発表。これにより、Teck社は270mUS\$を得ることになる。契約はQ2に完了する予定。

(2) 財務状況

(単位:m C\$)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,904	1,571	1,870	1,800	1,663	1,708	1,708			
営業利益(注)	2,382	614	879	687	202	636	636			
当期損益 Net earnings	659	345	497	424	-607	241	241			
売上高利益率		22.0%	26.6%	23.6%	-36.5%	14.1%	14.1%			
探鉱費 Exploration	135	19	27	44	45	11	11			

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (k t)	260	45	52	79	84	74	74			
亜鉛鉱石 (k t)	663	175	171	168	149	167	167			
亜鉛地金 (k t)	270	74	61	70	65	58	58			
鉛地金 (k t)	85	26	20	18	21	19	19			
モリブデン (t)	3,228	735	774	770	949	851	851			
(k lb)	7,119	1,621	1,707	1,699	2,092	1,875	1,875			
石炭 (k t)	11,311	2,357	2,630	2,152	4,172	3,966	3,966			

注) 権益分のみ計上

② 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱山名(権益%)	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Red Dog (100) (Zn; k t)	516	139	130	132	115	137	137			
(Pb; kt)	123	36	32	29	26	32	32			
Highland Valley (97) (Cu; k t)	116	26	27	30	33	27	27			
(Mo; t)	1,848	352	396	396	704	616	616			
(Mo; k lb)	4,074	776	873	873	1,552	1,358	1,358			
Antamita (22.5%) (Cu; k t)	78	17	21	20	20	18	18			
(Zn; k t)	79	17	21	22	19	21	21			
(Mo; t)	1,368	388	388	347	245	214	214			
(Mo; k lb)	3,015	855	855	765	540	472	472			
Teck Coal (100%)* (石炭:k t)	12,375	2,357	2,630	2,152	5,235*	3,966	3,966			

注) 権益分のみ計上

* 10月30日、Elk Valley40%の権益に加え Fording 社の60%を獲得し、Teck が100%所有する Teck Coal となる。

11. Newmont

- ・2009年Q1の純利益は、金と銅価格が下落したことを受け、2008年同期の365m US\$から大幅に下げて、189m US\$となった。
- ・ペルーYanacocha 鉱山の販売量が下がったものの米 NV 州、豪州、インドネシアの Batu Hijau 鉱山の売上量が推定を上回ったことから、Q1の金売上量1,270k oz、売上原価435US\$/ozで想定売上量を上回った。

(1) トピックス

- ・今期の米 NV 州の鉱山はミル6号機とオートクレーブの処理量が例年より多かった事、Leevil, Chukar, Carlinの地下生産量が増加したことで、金の売上量は想定量を上回り518k oz 売上原価509US\$となった。2009年のNV州鉱山の売上量は1,800k ~ 2,000k oz、売上原価290 ~ 310US\$を推定。
- ・ペルーYanacocha 鉱山のリーチパッド生産量は伸びたものの、作業工程の順序変更などから低品位生産となり、想定売上量を下回り、241k oz、売上原価324US\$となった。
- ・豪、ニュージーランド地域では、Tanami 鉱山の処理量/回収量が少なかったのに対し、Jundee 鉱山、Kalgoorlie 鉱山での高品位生産と回収量も Tanami を大きく上回ったため、また、豪\$が安くなったことで、想定売上量を上回った。
- ・インドネシア Butu Hijau でも金、銅売上量ともに、ミルの処理量が増大したこと、精鉱出荷量が増大したこと、想定売上量を上回った。
- ・豪 AngloGold Ashanti Australia 社より豪西部にある Boddington 金プロジェクトの33.33%の権益の買収を発表。この買収により、Newmont 社は同プロジェクトの権益の100%を獲得することになる。Boddington プロジェクトは大規模な露天掘り鉱山で、現在約89%の工事が終了、稼働開始は2009年中旬になる予定。開始すると、豪最大規模の金生産プロジェクトとなり、最初の5年間の生産量は1,000k oz でコストは平均300 US\$/oz となる見込み。マインライフは20年以上といわれる。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2007年					2008年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,199	1,943	1,522	1,392	1,342	1,552	1,552			
営業利益(注)	2,308	970	579	393	366	607	607			
当期損益 Net income	848	365	277	196	10	189	189			
売上高利益率	13.7%	19.0%	18.2%	14.1%	0.7%	12.2%	12.2%			
探鉱費 Exploration	6,199	39	59	57	59	41	41			

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いた値であり、評価損等は含まない。例えば、売上1,410 m US\$-支出(金生産コスト630 m US\$+銅生産コスト98 m US\$+減価償却、減耗控除、債務償還163 m US\$)=591 m US\$。なお、総支出は2,211 m US\$となっており、探鉱セグメント評価損1,122 m US\$、研究開発費及び投資損等を含んでいる

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	161.2	40.1	39.5	39.7	41.9	39.4	39.4			
(k oz)		1,290	1,271	1,277	1,346	1,267	1,267			
銅 (k t)	57	21	10	9	17	20	20			

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Nevada (権益 100%)	70	16.9	16.9	17.2	19.4	16.1	16.1			
(Au; 上段: t、下段: k oz)	2,260	543	542	552	623	518	518			
Yanacocha (権益 51.35%)	29	8.0	7.1	7.2	6.7	8.0	8.0			
(Au; 上段: t、下段: k oz)	929	257	227	230	215	256	256			
Batu Hijau (権益 45%)	57	15	11	14	17	17	17			
(Cu: k t)										

注) 権益分のみ計上

12. Barrick Gold

- ・ 2009 年 Q1 の純利益は 前年同期の 514mUS\$ と比較すると約 28%減少して 371mUS\$ となった。
- ・ 2009 年 Q1 の金生産量は 1,760k oz、キャッシュコストは 484 US\$/oz。石油や外国為替ヘッジの影響がなければ、オンス当たり 45US\$は下げることができると考えられる。
- ・ 今期以降の金生産量の増加と 2009 年後半のキャッシュコスト引き下げが想定されるため、2009 年金生産指導計画(生産量 7,200~7,600k oz、キャッシュコスト 450~475 US\$/oz)通りの生産が見込まれる。

(1) トピックス

- ・ 近々初生産が見込まれるタンザニアの Buzwagi プロジェクトは、予定通り生産開始前資本予算額 400mUS\$ 内に収めた。2009 年の生産量は 200 koz が見込まれ、キャッシュコストは 320~335US\$/oz。
- ・ 米 NV 州の Cortez Hill は予定どおり、2010 年 Q1 に生産が開始される見込み。Cortez Hill は生産がフル稼働すると、最初の 5 年でキャッシュコストが 350~400US\$/oz になるとされ、Barrick 社のメジャー鉱山のひとつとなる。
- ・ ドミニカ共和国の Pueblo Viejo プロジェクトも予定通り生産開始前資本予算額 2,700mUS\$内で開発が進められており、初生産は 2011 年 Q4 に見込まれる。
- ・ チリとアルゼンチンにまたがる Pascua-Lama 鉱山では、これまで許可を受けられなかった地域の開発許可の獲得、また国境をまたいだ税制について、チリ・アルゼンチン政府レベルでの取り決めなどで状況が大きく進展した。詳細は Q2 に発表される予定。

(2) 財務状況

(単位:m US\$)

	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	7,913	1,958	1,967	1,878	2,110	1,827	1,827			
営業利益	3,004	942	821	588	653	611	611			
当期損益 Net Income	785	514	485	254	-468	371	371			
売上高利益率		26.3%	24.7%	13.5%	-22.2%	20.3%	20.3%			
探鉱費 Exploration	216	43	54	55	64	32	32			

注) 営業利益は、売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び原価償却費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008 年					2009 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	238.2	54.2	57.8	60.5	65.7	54.6	54.6			
(k oz)	7,657	1,743	1,857	1,945	2,112	1,755	1,755			
銅 (k t)	166	39	39	39	49	43	43			

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2007 年					2008 年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Porgera* (Au; t)	19.5	4.5	4.7	5.1	5.2	4.6	4.6			
(Au; k oz)	628	144	152	165	167	150	150			
Cortez* (Au; t)	13.2	2.6	3.2	3.1	4.3	2.8	2.8			
(Au; k oz)	427	83	103	102	139	92	92			
Lagunas Norte (Au; t)	36.4	7.3	8.1	10.9	10.1	7.3	7.3			
(Au; k oz)	1,175	234	262	353	326	237	237			
Zaldívar* (Cu; kt)	133	33	31	29	40	34	34			

注) *印は旧 Placer Dome 社所有鉱山

13. Grupo Mexico (GM)

- ・ 金属価格の下落により、2009年Q1の売上高は前年同期比52.5%減の8.24億US\$、同じく当期利益は95.8%減の19mUS\$に留まった。
- ・ Cananea銅山のストは依然継続。

(1) トピックス

- ・ 2009年Q1の売上高は824.059mUS\$(前年同期比52.5%減)、当期利益は19.061mUS\$(同95.8%減)となり、2008年Q4からは若干持ち直した。
- ・ SCC株式16.7百万株の買い付け及びSCC社の自社株33.4百万株の買収により、GMのSCC権益保有率は80%へ増加。
- ・ Asarcoは依然として米国破産法第11条に基づく会社更生手続の途上にある。
- ・ 経済情勢の悪化を踏まえ、2009年の投資予定額は当初案の13.07億US\$から4.28億US\$へと68%の大幅減額。鉱業部門への投資予定額は3.28億US\$、運輸部門へは1億US\$を投資予定。
- ・ 連邦調停仲裁委員会(Junta Federal de Conciliacion y Arbitraje)が、4月14日付けでCananea銅山の労働協約及び個人雇用契約の終了を承認。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	5,945.7	1,736.1	1,758.2	1,737.6	713.8	824.1	824.1			
当期損益 Net Income	1,071.2	452.6	451.7	342.1	-175.2	19.1	19.1			
売上高利益率	18.0%	26.1%	25.7%	19.7%	-24.5%	2.3%	2.3%			
全投資額(*)	730.1	97.7	172.1	186.3	274.1	135.4	135.4			

(*) 探鉱費のほか他の投資額を含む全額

(3) 生産状況(主要鉱産物)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (k t)	488.9	127.9	117.3	118.7	125.2	119.8	119.8			
銀 (t)	383.0	96.1	95.8	94.5	96.6	97.8	97.8			
金 (k g)	465.0	127.0	112.0	113.0	113.0	116.0	116.0			
モリブデン (k t)	16.39	3.92	3.90	4.54	4.03	4.06	4.06			
亜鉛 (k t)	106.9	24.8	27.6	26.9	27.7	27.0	27.0			
鉛 (k t)	20.4	5.2	5.3	5.0	5.0	5.3	5.3			

(4) その他

- ・ GMの製錬所は、MM 3、SCC 2の計5か所。
- ・ 鉄道部門子会社ITMの純益は、前期26.0m US\$、当期19.6m US\$と安定収益を確保。

(参考) GMの組織 (()内はGMの権益比率)

鉱業部門：AMC (100%) - SCC (80%) - MM (0.85%)

└ ASARCO (100%) 【米破産法申請中(2009年4月28日現在)】

鉄道部門 ITM (75%) - GFM (100%) - FERROMEX (74%)

└ FERROSUR (100%)

(注) SCC(Southern Copper Co.)は、SPCC(Southern Peru Copper Co.)から社名変更(2005/10/11)。

ペルー、メキシコ、チリで活動中。MMの権益の99.15%を保有。

14. KGHM Polska Miedz

・2009年Q1の売上高は、銅価格の下落等により前年同期比21%減の2,377mPLN。当期利益は、銅・銀価格の下落、銅販売量の減少等により、前年同期比36%減の628mPLNとなった。

(1) トピックス

- ・2009年Q1の生産量は、電気銅が123k t(外部からの調達原料18k tを含む)、銀が313 tであった。
- ・売上高は、対US\$平均レート3.45 PLN/US\$(前年同期2.39 PLN/US\$)とPLN安となったものの、銅の平均LME価格が3,435 US\$/t(前年同期7,763 US\$/t)と大幅に下落し、また、銀の平均LBM価格も12.60 US\$/oz(前年同期17.59 US\$/oz)と下落した。銅販売量も119k tと(前年同期132k t)減少し、売上高は、前年同期比21%減となった。
- ・操業コスト(Operating Costs)は、1,595m PLNで、前年同期比13%減(241 m PLN 減)となった。外部からの調達原料の減少及び賞与の減少等による人件費の減少等により操業コストが減少した。

(2) 財務状況

(金額単位：mUS\$(mPLNを期末レートでUS\$換算))

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	4,273	1,346	1,429	1,147	862	671	671			
	(12,655)	(3,002)	(3,029)	(2,720)	(2,552)	(2,377)	(2,377)			
当期利益 Profit for the period	934	440	393	303	131	177	177			
	(2,766)	(982)	(832)	(718)	(388)	(628)	(628)			
売上高利益率 (%)	21.9%	32.7%	27.5%	26.4%	15.2%	26.4%	26.4%			
為替レート (PLN/US\$)	2.9618	2.2305	2.1194	2.3708	2.9618	3.5416	3.5416			

※為替レートはIMFによる期末値。

※四半期の集計値と通年計(アニュアルレポート掲載値)は合致しない。

(3) 生産状況

主要鉱産物の生産状況

(単位：t 純分)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅地金(t)	526,947	128,947	129,000	133,000	136,000	123,000	123,000			
銀(t)	1,193	292	308	253	340	313	313			

(4) その他

- ・特になし

15. Antofagasta Plc

- ・2009年Q1の銅生産量は111,900tで対同年前期比2.4%減となった。これは主としてLos Pelambres 鉱石硬度増による鉱石処理量低下(粗鉱品位上昇と選鉱実収率改善で一部offset)。
- ・副産物クレジットを含むキャッシュコストは97.5¢/lbで、前年同期の72.2¢/lbより26.3%増であった。これは、2009年Q1のモリブデン価格が8.9¢/lbで、前年同期の33.2¢/lbから73.2%下落したことに伴うもの。
- ・2009年初頭から開始したコスト削減計画により、2009年Q1の副産物クレジットを除くキャッシュコストは112.1¢/lbで、2008年平均の129.3¢/lbから13.3%減を達成。

(1) トピックス

- ・2008年11月に竣工したLos Pelambres 鉱山のMauro尾鉱ダムは、完全稼働に移行した。
- ・Los Pelambres 鉱山の拡張工事は、2009年末の工事完了に向け順調に進捗中である。
※粗鉱処理量を130k t/日から175k t/日に拡大し、年間銅生産量を90k t増大する計画。
- ・El Tesoro 鉱山の北東鉱床のPre-strippingは、2009年Q2からの生産開始に向けて計画通り進行中である。
- ・Michilla 鉱山では粗鉱量が減少したことから、鉱量高生産コストであったLince 鉱床の操業を停止し、Stockpile 利用及び買鉱で生産の一部を補完した。なお同鉱山では、少なくとも2010年までは生産を継続するために計画見直し中であるとともに、2011年以降の操業継続に向け検討作業中である。
- ・Esperanza 鉱山開発プロジェクトは、2010年後半の操業開始に向け順調に工事進捗中である。
※銅191k t/年、金6.7t/年、銀34.2t/年生産予定(モリブデンは2015年より生産予定)
- ・チリAntucoya 銅プロジェクト、パキスタンReko Diq 銅・金プロジェクトのFSは計画通り進行中であり、両プロジェクトとも本年後半に終了予定。
※Antucoya 銅プロジェクト
Michilla 鉱山のSxEw プラントへの鉱石供給を目的として、2006年4月にSQM(チリ)より8mUS\$で買収(埋蔵量322mt、Cu 0.4%)。
※Reko Diq 銅・金プロジェクト
パキスタン Balochistan 州のアフガニスタン及びイラン国境近くに所在し、Antofagasta 及びBarrick Gold が各々37.5%、Balochistan 州政府が25%権益を保有(資源量4,887mt、Cu 0.496%、Au 0.281g/t)。
- ・2009年3月、Almadenminerals との間で同社がMexicocity 西方150kmに保有するTuligtic 銅・モリブデンプロジェクトについて、今後5年間にわたり探鉱費等で8mUS\$資金負担する事により同プロジェクト権益60%を取得する契約を締結。なお、本プロジェクトがFS段階に移行した場合、Antofagasta が当該費用を負担することにより最大75%までの権益を獲得することが可能。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008年			2009年		
	通年計	H1	H2	通年計	H1	H2
売上高	3,372.6	2,407.0	965.6			
当期利益	842.9	792.8	50.1			
売上高利益率(%)	25.0	32.9	5.2			
探鉱費	54.9	22.4	32.5			

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石(k t)	477.7	114.6	119.0	123.7	120.4	111.9	111.9			
モリブデン鉱石(k t)	7.8	1.8	2.0	1.9	2.1	1.7	1.7			
キャッシュコスト(¢/lb)	87.3	72.2	72.3	76.4	127.7	97.5	97.5			

※銅精鉱中の Payable Copper 量

キャッシュコスト：加重平均コスト(副産物クレジット含む)

② 主要保有鉱山の銅生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Los Pelambres (60%)	339.2	79.1	84.7	90.0	85.4	80.2	80.2			
El Tesoro (70%)	90.8	23.9	22.7	21.5	22.6	20.4	20.4			
Michilla (74.2%)	47.7	11.5	11.6	12.3	12.3	11.4	11.4			

※Los Pelambres：銅精鉱中の Payable Copper 量

El Tesoro、Michilla：銅地金量

(4) その他

なし

16. Peñoles

- ・2009年Q1の売上高(Net Sales)は670.5m US\$(前年同期比51%減)に留まり、当期損益は17.7m US\$の損失(同119%減)を計上し、引き続き業績は低迷。
- ・2008年通年の金・銀生産量は創業以来の最高を記録。

(1) トピックス

- ・金属価格の低迷及びTorreon鉛精錬所のストによる金・銀・鉛の減産により、2009年Q4の売上高は670.5m US\$に留まった。また、当期損益は17.7m US\$の損失を計上し、2008年Q4に引き続き業績が低迷。
- ・鉛精錬所のストは2月8日～4月14日の66日間に及んだが、会社側提案の給与6%増、福利厚生費1%増及び1%の特別ボーナスの支給を労組が受け入れ、解決に至った。
- ・Durango州のVelardeña多金属プロジェクトは初期探鉱が終了し、36mtの資源量を捕捉。現在、プレFSを実施中。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高Net Sales	4,835.5	1,365.2	1,357.4	1,214.1	898.8	670.5	670.5			
当期損益	704.9	94.3	623.0	87.4	-99.8	-17.7	-17.7			
売上高利益率	14.6%	6.9%	45.6%	7.2%	-11.1%	-2.6%	-2.6%			

(注) Peñoles社クォーターリーレポートには「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載のPeso建ての金額と四半期毎の平均レートを用いUS\$に換算した(平均レートは、2008年Q1 10.8101 Peso/US\$、Q2 10.4374 Peso/US\$、Q3 10.3113 Peso/US\$、Q4 12.9859 Peso/US\$、2009年Q1 14.3623Peso/US\$である)。

(3) 生産状況(主要鉱産物)

(純分)

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金鉱 (kg)	11,897	3,136	3,095	2,749	2,917	3,056	3,056			
金地金 (kg)	56,261	14,315	14,260	13,059	14,628	5,791	5,791			
銀鉱 (t)	1,433	348.6	369.8	362.3	351.8	381.7	381.7			
銀地金 (t)	3,678	852.1	929.9	960.8	935.7	364.1	364.1			
鉛鉱 (t)	61,296	15,070	15,531	15,356	15,339	15,632	15,632			
鉛地金 (t)	141,395	35,788	36,168	34,243	35,196	13,755	13,755			
亜鉛鉱 (t)	182,855	45,644	46,004	45,229	45,978	46,879	46,879			
亜鉛地金 (t)	224,556	49,774	57,330	56,469	60,983	60,819	60,819			
銅鉱 (t)	27,219	5,835	6,677	7,123	7,583	n.d.	n.d.			
銅地金 (t)	7,289	1,879	1,883	1,491	2,036	n.d.	n.d.			
ビスマス (t)	1,133	234	312	307	280	n.d.	n.d.			

(4) その他

Peñolesの主要鉱山は、Fresnillo (フレスニージョ：金・銀・鉛・亜鉛)、La Herradura (ラ・エラドゥーラ：金・銀)、La Cienega (ラ・シエネガ：金・銀・鉛・亜鉛)、Francisco I. Madero (フランシスコ・I・マデーロ：亜鉛・鉛)、Tizapa (ティサパ：金・銀・鉛・亜鉛・銅)、Bismark (ビスマルク：亜鉛)、Naica (ナイカ：銀・鉛・亜鉛・銅)、Sabinas (サビナス：銀・鉛・亜鉛・銅)、Milpillas (ミルピージャス：銅(2006年生産開始))である。

17. PT Antam

- ・売上高 2.6 兆 Rp.。前期比 25%、前年同期比 26%それぞれ増。金売上が 2.1 兆 Rp.、80%を占めるが、内 88%がトレーディングによるもの。
- ・フェロニッケル生産量 3,296t。前期比 7%、前年同期比 24%それぞれ減。
- ・ニッケル鉱石生産量 106 万 t。前期比 16%、前年同期比 55%それぞれ減。

(1) トピックス

①Pomalaa フェロニッケル製錬所用石炭火力発電所建設に着手

南東スラウェシ州にある PT Antam Pomalaa フェロニッケル製錬所用石炭火力発電所(75MW 2 基)建設について、インドネシア企業 2 社を選定したと 3 月 11 日に発表した。今後 PT Antam 20%、2 社が 80%の合弁企業を設立、技術、環境、資金調達等を検討し、2010 年末に着工、2013 年には本格稼働の計画としている。同製錬所では現在 102MW ディーゼル発電機を稼働させているが、製錬コスト軽減のため予めから石炭火力発電所の建設を検討してきた。また、燃料となる石炭調達のため、石炭鉱区の獲得も検討。

②開発中の金山を豪企業から引継ぎ

Arc Exploration 社が保有する Banten 州 Cibaliung 金山の権益 95%を同金山向け銀行債務とともに Antam が引継ぐことを 1 月 29 日に発表した。権益の残り 5%は、Antam が保有している。同金山は、2008 年 Q2 生産開始を計画していたが、石油価格等の開発費高騰と 2008 年秋以降の金融危機により開発が中断されていた。両社及び銀行が同意した引継ぎ条件は、①Arc 社への 1US\$支払い、②同金山向け銀行債務の Antam による承認(2008 年 Q4 報告から約 25 mUS\$と推測される)、③Antam によるプロジェクトの直ちの推進である。Arc 社株主、インドネシア当局等の承認が必要であり、実際の引継ぎまでには、なお 4~6 か月が必要と Antam は見込んでいる。

③中央カリマンタン州政府と MOU を締結

中央カリマンタン州と同州における鉱物資源開発を協力して実施するという MOU を締結したと 1 月 29 日に発表した。石炭、金、ボーキサイト、鉄その他の鉱物資源が対象。

(2) 財務状況

(金額単位：mUS\$又はmIDR)

年(暦年) 四半期	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales〔①〕(mIDR)	9,591,981	2,091,781	3,129,945	2,232,094	2,105,751	2,641,606	2,641,606			
〃 (m US\$)	(1,000.3)	(226.5)	(337.8)	(242.1)	(190.9)	(231.0)	(231.0)			
当期利益 Net Income 〔②〕(mIDR)	1,368,139									
〃 (m US\$)	(142.7)									
売上高利益率 〔③=②/①〕	14.3%									
輸出額 Export Sales(mUS\$)	775.8	209.5	307.1	173.9	135.9	131.6	131.6			
・FeNi(mUS\$)	371.0	35.4	173.5	105.2	58.2	12.1	12.1			
・ニッケル鉱石(mUS\$)	306.7	126.9	94.2	53.1	35.8	22.4	22.4			
高品位鉱石(Ni 2%超)(mUS\$)	220.7	77.8	69.8	44.1	32.4	18.6	18.6			
低品位鉱石(Ni 2%以下)(mUS\$)	86.0	49.1	24.4	9.0	3.4	3.8	3.8			
・金(mUS\$)	74.4	42.8	31.0	8.9	37.6	93.6	93.6			
・銀(mUS\$)	7.4	2.9	2.5	1.1	1.0	2.3	2.3			
・ボーキサイト(mUS\$)	16.3	1.5	6.0	5.7	3.3	1.2	1.2			
国内出荷額 Domestic Sales(mIDR)	2,095,404	156,941	285,172	633,847	598,950	1,092,677	1,092,677			
〃 (m US\$)	<219.0>	<17.0>	<62.0>	<88.8>	<54.3>	<95.6>	<95.6>			
〔参考〕為替レート(IDR/US\$)	9,589	9,237	9,265	9,218	11,028	11,434	11,434			

※2008年計の売上高及び当期利益はアニュアルレポートから、それ以外のデータは四半期報告から転記した。各四半期の集計値と年計とは合致しないことがある。

※為替レートはAntamクォーターリーレポート掲載の期中平均値である。

※太字はUS\$、斜体字は為替レートからの換算値(JOGMECが換算)である。

(3) 主要鉱産物の生産状況

	2008年					2009年				
	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4	通年計	Q1	Q2	Q3	Q4
フェロニッケル(t)	17,566	4,362	4,152	5,512	3,540	3,296	3,296			
ニッケル鉱石(wmt)	6,571,764	2,351,067	1,878,403	1,076,873	1,265,421	1,058,350	1,058,350			
High Grade* (wmt) (品位 Ni 2%超)	4,027,520	996,297	1,258,111	815,413	957,699	554,774	554,774			
Low grade* (wmt) (品位 Ni 2%以下)	2,544,244	1,354,770	620,292	261,460	307,722	503,576	503,576			
金(kg)	2,833	935	577	561	761	715	715			
銀(kg)	25,348	7,633	5,734	5,162	6,820	6,250	6,250			
ボーキサイト(wmt)	1,152,322	181,141	339,286	511,379	120,516	265,971	265,971			

(4) 探鉱

当期の探鉱費は、ラテライトニッケル、金、ボーキサイト及び石炭を対象に 204 億 Rp を支出した。うちニッケル探鉱分は 67 億 Rp、金は 97 億 Rp、ボーキサイトは 32 億 Rp、石炭は 8 億 Rp。探鉱地域は次のとおり。

<ニッケル>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
ハルマヘラ	Buli	ボーリング調査 2,010m ほか	3,200
	Pakal	ボーリング調査 4,244m ほか	
南東スラウェシ	Mandiod	ボーリング調査 3,928m ほか	3,100

<金>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
アチェ	Central Aceh, Naganraya	広域地質概査 8,000ha ほか	143
北スマトラ	North Tapanuli	地質準精査 1,215ha ほか	213
ジャンビ	Muara Manderas	ボーリング調査 695m ほか	2,400
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査 3,493m ほか	3,700
	Papandayan	地質精査 214ha ほか	1,900
中央ジャワ	Tirtomoyo, Jatisrono	地質精査 260ha ほか	155
	Ajibarang, Kebasen	地質精査 428ha ほか	151
南東スラウェシ	Wowoni, Kolono	地質精査 125ha ほか	667
	Ranteangin	広域地質概査 5,340ha ほか	176
西スラウェシ	Mao, Batuisi, Karosa	地質準精査 1,775ha ほか	231

<ボーキサイト>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (m Rp)
西カリマンタン	Mempawah, Landak	グリットテストピット	1,900
	Munggu Pasir	グリットテストピット	818
	Tayan	グリットテストピット	440

合併事業は以下のとおり。

合併企業	鉱種	PT Antam 権益(%)	パートナー	ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest Singapore Holding Pte Ltd	生産
PT Cibaliung Sumber Daya	金	5	Arc Exploration Ltd	開発
PT Dairi Prima Minerals	鉛・亜鉛	20	Herald Resources	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet(Weda Bay Minerals)	プレ FS
PT Sorikmas Mining	金	25	Oropa Limited	探鉱
PT Gorontalo Minerals	金	20	PT Bumi Resources	休止
PT Sumbawa Timur Mining	金	20	Eastern Star Resources	休止
PT Pelsart Tambang Kencana	金	15	Pelsart International NL, Australia	休止

2. 中国企業

銅地金生産企業

企業名	2008年												1~3 月計	年計 (注)	対前 年比 2008/ '07
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	50,091	59,373	59,557	69,390	63,200	63,775	62,474	63,055	64,865	56,861	59,050	30,978	169,021	702,669	27.00%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	48,002	43,562	51,547	55,568	63,431	55,337	56,776	56,674	50,780	51,471	53,628	59,366	143,111	646,142	3.63%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	14,102	18,650	34,900	42,383	40,607	42,581	40,286	39,468	30,232	24,065	34,942	25,448	67,652	387,664	-10.93%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	20,880	19,615	22,455	22,621	23,082	24,040	24,504	21,171	20,807	21,618	24,184	19,647	62,950	264,624	7.21%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	17,502	19,560	20,589	24,707	24,001	22,002	21,999	20,999	28,316	28,831	31,097	30,376	57,651	289,979	10.23%
主要5社合計	150,577	160,760	189,048	214,669	214,321	207,735	206,039	201,367	195,000	182,846	202,901	165,815	500,385	2,291,078	

(注) 1-12 月計は、安泰科の 12 月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

企業名	2009年												1-3 月計 (注)	対前年比 2009/'08	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	52,325	63,502	61,781											177,608	5.08%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	57,312	51,283	56,698											165,293	15.50%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	6,830	18,460	19,437											44,727	-33.89%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	21,350	20,075	20,240											61,665	-2.04%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	32,411	33,432	26,284											92,127	59.80%
主要5社合計	170,228	186,752	184,440											541,420	8.20%

出典：安泰科